

日付：2021年 1月 23日（土）

今日の行き先

No	TOPIX	媒体	解説	活用・リストアップのヒント
1	賃金下落で年金0.1%減額 来年度から新ルール適用 財政への影響抑える	日経 1	<ul style="list-style-type: none"> 厚生労働省は22日、2021年度の公的年金の受給額を20年度比0.1%下げると発表 厚労省は16年の法改正で賃金が物価以上に下落した状況でも、改定率を賃金に合わせる新ルールを21年度から導入すると決めたため、4月分から適用 厚生年金を受け取る夫婦2人のモデル世帯は228円減の月22万496円になる。自営業者らの国民年金は40年間保険料を納める満額で66円減の6万5075円に 	話題(セカンドライフ・年金等) 年金話題から、セカンドライフのプランを確認し、積み立てを訴求
2	「専門医ゼロ」 重症施設の2割に 首都圏、コロナ入院困難 人材の集約・育成急務	日経 1	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの重症者用病床に対し、医療人材が少ない 日本経済新聞が首都圏4都県の病院を調べたところ、集中治療室など重症者施設を持つ病院の2割で、高度な容体管理を担う専門医がいない。15%は専門医が1人のみ なり手が少ない上に人材が分散し、欧米より現場が手薄になっている。医療資源の集約と人材育成が急務 	話題(創客・医療) 話題から、医療保障の充実等を訴求
3	分譲マンション賃料 0.1%下落 12月、東京23区	日経 16	<ul style="list-style-type: none"> 東京カンテイ(東京・品川)が発表した2020年12月の分譲マンション賃料は、東京23区が1平方メートル3822円と、前月から0.1%下がった。同年8月まで上昇傾向だったが、その後4カ月連続の下落。都内で賃貸マンション需要がやや弱まりつつある模様 	話題(創客・雑談力向上等) 持ち家の有無や、住宅ローン、最新の団信から保障・補償の充実まで
4	マネーのまなび	日経 19~	<ul style="list-style-type: none"> 資産づくり 非課税生かす NISAとイデコ使い分け 地震保険の機能と費用 被災後の生活再建に備え 失敗しない優待株選び コロナ下、使い勝手を確認 暦年贈与で節税効果 富裕層は課税強化の公算 	話題(年金・積み立て・相続) 話題から、相続対策、積み立て等を訴求
5	その他 TOPIX	2 14	<ul style="list-style-type: none"> アップルウォッチで心電図 日本でも提供へ 不整脈の兆候検出、医療との連携焦点 京急、一時5%安 空港線、シェア低下懸念 	

Today's アドバイス

今日は何の日	本日の言葉
<ul style="list-style-type: none"> 電子メールの日 八甲田山の日 アーモンドの日 	一日、生きることは、 一步、進むことでありたい。 /湯川秀樹(物理学者)

定期預金金利 (1,000万以上/10年)	0.002%	国債(10年) 360回	0.035% 0.005	米国債(10年) 中国国債(10年)	1.085%/ 3.139% -0.027 0.007
日経平均	28,631.45 -125.41	ダウ平均	30,996.98 -179.03	韓国総合指数 KOSPI	3,140.63 -20.21
コロナリ患者数 (国内)	357,648 5,035	コロナ死者数	4,994 108	コロナ罹患者数 (世界)	97,495,558 637,732
インフルエンザリ患者 (1月18~24日)	70人 (昨年105,221人)	参考:2018年 罹患者数/死者数	約1200万人 /3,325人	インフルエンザ ワクチン供給量	約3,178万本 (6,300万人分)

本日の深掘りウォッチ：年金2,000万円問題って、何だっけ！？

以前、金融庁が2019年6月3日に公表した金融審議会の市場ワーキング・グループ報告書「高齢社会における資産形成・管理」の内容が世間的に大きく取り上げられ、話題になりました。

改めて、その問題を整理し、自身のお客さまのセカンドライフのプランニングを整えていきましょう！

前提

- 2017年の平均寿命は男性81.1歳、女性87.3歳（女性の60歳時点の平均余命は28.77年）
- 2017年の高年齢夫婦無職世帯（夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦のみの無職世帯）の毎月赤字額（収入－支出）の平均値は約5.5万円※詳細は下記表を参照

支出	
食費	64,444
住居	13,656
光熱・水道	19,267
家具・家事用品	9,405
被服及び履物	6,497
保健・医療	15,512
交通・通信	27,576
教育	15
教養・娯楽	25,077
その他消費支出	54,028
非消費支出	28,240
合計	263,717

収入	
収入（勤め先等）	4,232
事業収入	4,045
社会保障給付（年金等）	191,880
その他収入	9,041
合計	209,198

（単位：円）

約5.5万円

約5.5万円×12ヵ月×30年
⇒約1,980万円
が必要と試算される!!

加入している『公的年金』や『退職金』、『個人での積み立て』のポートフォリオをふまえ、収入を試算。左記の支出を参考にお客さま毎のライフスタイル（お子さまの独立の時期等）にアップデートし、目安となる必要な金額を算出の上、必要な積み立て額の過不足をイメージしていただく！

・・・左記収入は、「65歳から公的年金を受け取ること」を前提にしている点は注意が必要

参考：金融審議会 市場ワーキング・グループ報告書

「高齢社会における資産形成・管理」令和元年6月3日

https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/tosin/20190603/01.pdf